

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

私たちが日々の生活や仕事の上で、大事な意思決定を行うに当たって必要な法則や注意点を問われたならば様々な答えが返ってくることでしょう。私が重要視することは、「優先順位を決めること」と「バランスを取る（考える）こと」の2つです。これは10年以上前から変わっていません。この2つのことは織物の縦糸と横糸の関係のように思われます。2つの視点から問題なければ、大失敗が起こることはあり得ないし、また、トラブルが生じて乗り越えられます（解決出来るか、諦める場合もあり）。「優先順位を決めること」については、別の機会とし、今回は「バランスを取ること」について述べたいと思います。

ものごとに白黒を付けたがる人は大勢います。そのような人からするとバランスを取るなどは中途半端で受け入れ難いかもしれません。極論を避けてその間をとる（現実的な選択をする）ことでもありません。どちらかと言うと仏教でいう「中庸」に近いかもしれません。大事なことを諦めたり、犠牲が生じたりしてはいけません。また、バランスが崩れるとストレスが多くなりトラブルや自己や病気が起こりやすくなります。抽象的な話ではイメージし難いので、分かりやすいように具体例をあげてみましょう。

人は誰でも24時間です。睡眠・仕事・家族と過ごす・全くの個人の時間に分けることが出来ます。それらの配分を多少変えることは可能ですが、どれかを全く無くしてしまうことは不可能です。量が少ないならば質や集中でカバーすることが望めます。また、どれかが真剣に行う活動で、どれかは手を抜いても構わないと考える方もいますが、もったいないです。それぞれを無理せず楽しむのが理想です。

長期の夢や目標を描くのに 個人・家庭・ビジネスの3つあるいはそれ以上の視点から 偏らないように考えることが成功哲学の書物などにあります。人間は単独で存在しないので、自分だけでなく、関わるすべての成長発展をも考えるのが正しいと思われます。そして、素晴らしい夢や目標であれば理解協力が得られるように積極的に伝えるべきです。事業で成功されている方の中にも、家庭問題で心を痛めている方もいらっしゃるようですが、真の成功ではありません。理解してくれていると言う思い込みでは他人を不幸にします。ビジネスで経営に携わっている方は、社員や部下にビジョンを示すことが望めます。

お金の使い方ですが、今を楽しむか（消費/浪費?）・将来のために使うか（投資）・将来のため取っておく（貯蓄）の3つに分けられますが、これにもバランス感覚が必要です。また、貯蓄においても、ローリスク・ローリターンのものか、ハイリスク・ハイリターンのものか、その組み合わせの選択もあります（株、不動産、預貯金（内貨、外貨）など）。経営者ならば短期に大きな利益を上げるのか、長期にわたる発展成長を望むかによって取るべき事業計画が違ってきます。1人の個人事業ならば前者でも構いませんが、正社員を複数人採用した会社組織では、先行投資（人財教育・環境整備・研究開発・市場開拓）は避けることはできません。伸びている会社は積極的にこうしたことにお金を使っています。

取引先も偏り過ぎていると、大きなトラブルに巻き込まれやすいのは言うまでもありません。また情報も偏りがちになります。効率は大切ですが、新たなパイプは作っていく（保持していく）必要があります。銀行との付き合いも同様です（メインバンク+数行）。個人でも友人関係を広げていくのは悪いことではありません。新たな人間的成長につながります。この点に関して、女性の場合 友達の友達は友達となりやすいが、男性は広がりにくいと言われています。数ではなく質の良い友人を増やしましょう。